

湖南省教育だより

令和7年(2025年)7月16日

No. 1



発行 湖南省教育委員会教育研究所
湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎内

TEL 0748-77-7052(直通) FAX 0748-77-4101(代)
Mail edkonan006@edu-konan.jp



楽しくて力のつく湖南省教育

～子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て、「生きる力の根っこ」を太くする～

自尊心

たて・よこ・ななめにすぎ間なく、どの子ももらさない指導・支援体制

湖南省人権教育ネット推進事業

学びの保障

自覚して学ぶ

仲間づくり

多様性を認め合う

ふるさと意識の醸成

地域の人との挨拶から

子どもの学びづくりプロジェクト

学び合う集団づくり

地域との協働

授業の湖南省スタイル

ICTの活用

読書活動の推進

家庭学習の充実

健康教育

教室の空気感

(安心・楽しい・成長・満足)

連続性のある多様な学びの場

いじめの未然防止・

早期発見・早期対応

人権感覚を磨く教職員

コミュニティ・

スクール

保護者

教育委員

地域学校

協働本部

教職員

いのち・人権・一人ひとりが世の光に

湖南省では、今年度も「楽しくて力のつく湖南省教育」を標榜し、「学び合う集団づくりによる『仲間づくり』」、「子どもの学びづくりプロジェクトによる『学びの保障』」、「地域との協働による『ふるさと意識の醸成』」を3本柱としています。「子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」をスローガンに「生きる力の根っこ」である自尊心を育む教育を推進します。

市教委研修（初任者研修）

第1回初任者研修（6月3日）

初の顔合わせとなりました。午前中は、日本語初期指導教室（さくら教室）について施設見学や講話から学びました。



午後からは、MIHO MUSEUMで国宝『鳥獣戯画』から講義・演習を通して学びました。



模写した作品を使って、模擬授業を行い「児童生徒が～たくなる授業づくり」にするためには、課題設定や話してみたい交流が大切なことを学びました。



受講者の振り返りから

・日本語指導が必要な生徒に対する関わり方について学ぶことができた。まずは、その子の立場になって何が壁となっているのかということを考えていきたい。また授業研修では、自分の授業について考えさせられた。生徒が「話したくなる」「学びたくなる」ようにするために、身近なトピックを選んだり、英語の豆知識を選んだりというような内容を取り入れていきたい。

第2回初任者研修（7月3日）

「湖南省の特別支援教育について」の講話は、午後からのことばの教室の施設見学・講話にもつながる内容で、受講者のイメージも膨らみました。



「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて」の講話では、自らの普段の授業を見つめ直し、意識していることや工夫していることをグループで交流することで、学び合うことができました。



「先輩からのメッセージ」では、初任者の先生方が聞きたいことを基に、2年目の先輩が講話を考えてくれました。



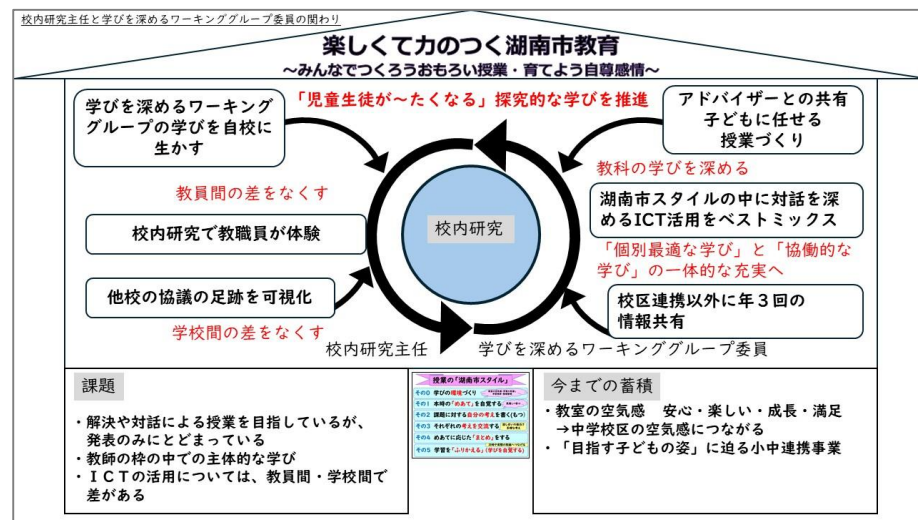
受講者の振り返りから

・合理的配慮の内容に関して、講義の中でも述べられていたように、ストレスに与える配慮ではなく、そのストレスを乗り越えられる力をつけられる配慮にするべきというのは非常に理にかなった考え方だと思います。どうすれば子どもが抱える課題を解決することができるか、子どもと一緒に考えられる教師になりたいと思いました。

・主体的・対話的で深い学びの主語は「子ども」であるが、授業づくりの指針の主語は「教師」であるということを再確認し、学習者の視点と授業者の視点の両方から授業を見ていかなければならないと気付かされました。今回の講義の中で他の先生が実践されている「主体的・対話的で深い学び」を交流する時間がありました。その中で活用したいと思うものが多くあったので、次にかいていきたいです。

学びを深めるワーキンググループ

学びを深めるワーキンググループ委員は、授業内容の充実を図る中核として、「児童生徒が～たくなる」探究的な学びを校内及び市内において推進する役割を担っています。



グループ委員は、学期に1実践を行い、実践内容を横展開しています。



湖南省小中学校「～たくなる」授業づくり共有ボードでは、研究主任、ワーキンググループ委員、管理職、市教委等が見つけた「～たくなる」授業をどんどん挙げています。